

保土ヶ谷保育園

平成30年度

月間指導計画(4月) 0歳児 ひよこ組

園長印



担任印



ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園での生活に少しずつ慣れる。 ・保育者に親しみ、安心して過ごす。 	行事	避難訓練 身体測定	長時間保育	<ul style="list-style-type: none"> ・不安になる事のないよう、側に付き添い過ごすように心掛ける。 	家庭連携	<ul style="list-style-type: none"> ・朝夕の支度について分かりやすく伝えていく。 ・子どもの様子に合わせて、保育時間を相談し、決めていく。 ・「共に育てる」姿勢を伝える。 	自己評価	<p>入園当初、分離時に泣いていた子ども慣れ、泣く事はほぼなくなってきた。保護者と子どもが安心できるよう、コミュニケーションはとれている。</p>
今月の内容(養護・教育)		環境構成			配慮・家庭との連携		取り組みの状況と保育士の振り返り		
<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の発達や個人差に合わせた配慮がなされ、安全・健康に過ごす。 ・保育園での生活に慣れていき、食事や睡眠のリズムが整っていく。 ・保育者に欲求を満たしてもらうことで、少しずつ情緒が安定して過ごせるようになる。 ・室内でのびのびと手足を動かすことや、外気に触れることの心地よさを感じる。 ・保育者の語りかけを心地よく感じ、喃語や発声を受け止められることで、気持ちが満たされる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・個々の様子を記入し、一覧表を使用していく。 ・室温や湿度に気を付け、こまめに換気をする。 ・発達に応じて、安全に配慮した物の配置や玩具の設定をしていく。 ・玩具の消毒や清掃などを行い、清潔を保つようにする。 ・天気の良い日は、テラスに出たり散歩をする等、外気の心地よさを感じられるようにする。 			<ul style="list-style-type: none"> ・離乳食やミルクの摂取状況等、一人一人の子どもの様子を見ながら食事を進めていく。 ・一人一人の睡眠リズム、気持ち良く眠れるかを把握し、対応していく。 ・発達の様子を見て、個々に合った遊びを提供していく。 ・悲しい気持ちや不安な気持ちを受け止め、ゆったりと関わり安心できるようにしていく。 		<ul style="list-style-type: none"> ・睡眠のリズムや離乳食の進み具合など、保護者と連携を取り、把握し、個々に対応することで、子どもが安心して過ごせるようになってきている。 ・感染性胃腸炎で下痢の子が多く、保護者に通院を勧めたり丁寧に様子を伝えるとともに、園での衛生管理に努めた。保護者の受け止め方の違いを知り、改めて早めの情報提供やアドバイスの必要を感じた。 		
名	月	現在の子ども達の様子	内容	配慮・家庭との連携	取り組みの状況と保育士の振り返り				